Panasonic

パーソナルコンピューター 取扱説明書

品番 CF-L2シリーズ

XP

本書以外のマニュアル

- H" IN モジュールの使いかた
  ＜H" IN モジュール内蔵モデルのみ＞
- H" IN サインアップマニュアル
  ＜H" IN モジュール内蔵モデルのみ＞
- 操作マニュアル
  （画面で見るマニュアル）
  本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては15ページを参照してください。
  もくじ
  使用上のお願い / キーの組み合わせによる操作 / 状態表示ランプ / フラットパッドの操作 / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / 省電力機能 / バッテリーパック / 画面切換ユーティリティ / USER ボタン / マルチメディアポケット / CD ドライブ / PC カード / RAM モジュール / プリンター / 外部ディスプレイ / USB 機器 / モデム / 携帯電話・PHS 電話 / LAN 機能 / セットアップユーティリティ / 技術情報 / DMI ビューアー / エラーコードが表示されたら / 困ったときの Q&A

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に

操作の方法

困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

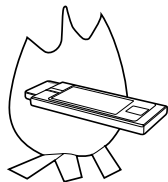
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

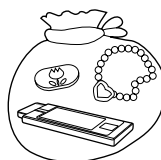
お使いになる前に

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

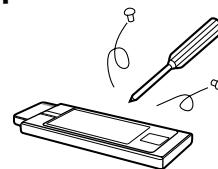
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

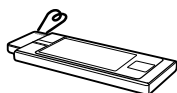
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

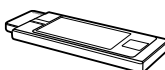
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(+)とマイナス(−)を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-L2 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災•感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

<H" INモジュール内蔵モデルのみ>

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

<H" INモジュール内蔵モデルのみ>

航空機内では電源を切る*1

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る*1（手術室、集中治療室、CCU*2等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る*1

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 コンピューター本体を使用したいときは、H"INモジュールスイッチをオフにしてください。
（☞「H"INモジュールの使いかた」）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*の原因になります。

* 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

[スタート]-[すべてのプログラム]: 画面上の[スタート]をクリックした後、[すべてのプログラム]をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter : キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5 : キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
☞ 操作マニュアル : 操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。15ページに記載の方法で起動し、参照してください。
別売り商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各周辺機器については操作マニュアルおよび周辺機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

お使いになる前に

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（▤）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]　[終了オプション]または[シャットダウン]を選び、操作を終了してください。
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失する恐れがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞操作マニュアル『セキュリティ機能』）

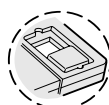
* 正式名称：Microsoft® Windows® XP Professional operating system です。本書では Windows または Windows XP と表記します。

ハードディスク保護

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータを読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）

使用上のお願い

フロッピーディスクのデータ保護

● フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
● 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
● 書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

書き込み可能な状態　　書き込み禁止の状態

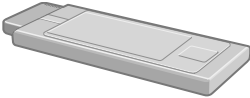
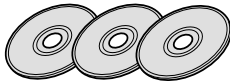
● フロッピーディスクの取り扱いには注意する。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
・シャッターを手で開けない
・磁気を帯びたものを近づけない
・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
・ラベルを重ねて貼らない

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また、本書とあわせて、使用する周辺機器の取扱説明書をよくご覧ください。
・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・接続しにくい場合は無理に差し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows **の操作を始めるまでの操作手順を説明します。**

1 付属品を確認する

本体（ウェイトセーバー内蔵）以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

お願い

トラブルが発生したときに使う再インストール用バックアップディスクを作成するには、別売りのUSB**接続のフロッピーディスクドライブ（品番：**CF-VFDU03JS**）が必要です。**10**ページ手順*9*のバックアップディスク作成の際には、**2HD**フロッピーディスクを準備し、書き込み可能な状態にしておいてください。バックアップディスク作成に、**1.2M**バイトフォーマットの**2HD**フロッピーディスクは使えません。**

AC アダプター .... 1 個	モジュラーケーブル .... 1 本
（品番：CF-AA1639A）　（電源コード1本付き）	
バッテリーパック .... 1 個	プロダクトリカバリー CD-ROM .... 3 枚
（品番：CF-VZSU19）	

印刷物

- 取扱説明書（本書）
- Windows マニュアル
- 保証書
  （保証書は梱包箱に貼り付けられています。）
- ご愛用者登録カード兼保証期間延長依頼書

<H" IN モジュール内蔵モデルのみ>
- H" IN モジュールの使いかた
- H" IN サインアップマニュアル

2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 22ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

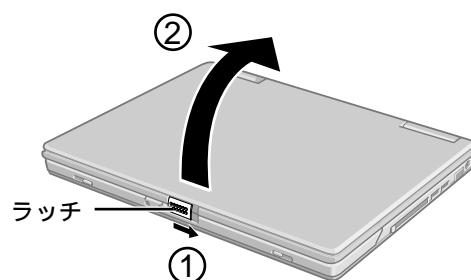
3 本体底面のラベルに記載されているプロダクトキー[Product Key]（数字とアルファベット）を本書の裏表紙に記入する

はじめて使うとき

4 ディスプレイを開ける

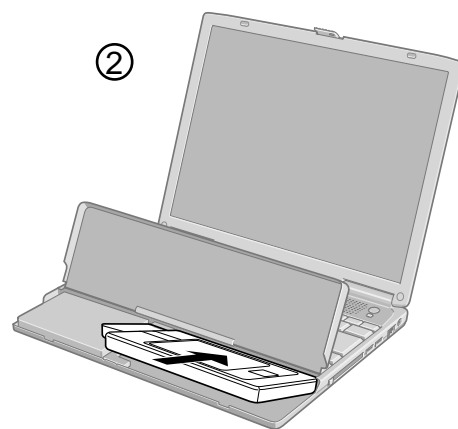
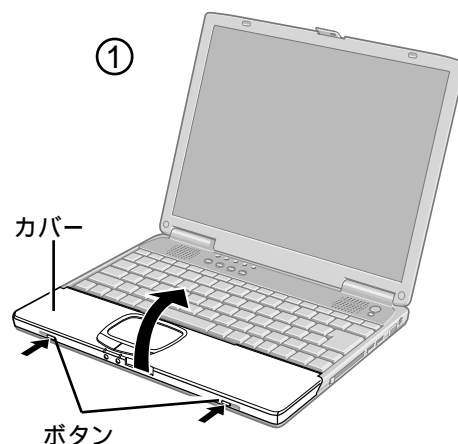
①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

5 バッテリーパックを取り付ける

① 左右のボタンを押しながらカバーを開ける。
② バッテリーパックのコネクター部を、コンピューター側のコネクター部分にあわせて矢印の方向に入れる。
③ きちんとカバーを閉める。

お願い

- コネクターに確実に挿入してください。
- バッテリーパックのコネクター部に触れないようにしてください。端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。
- バッテリーパックを取り付けた後は、必ずカバーを閉めてください。カバーを開けた状態でカバーに無理な力を加えると、破損する恐れがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

6 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

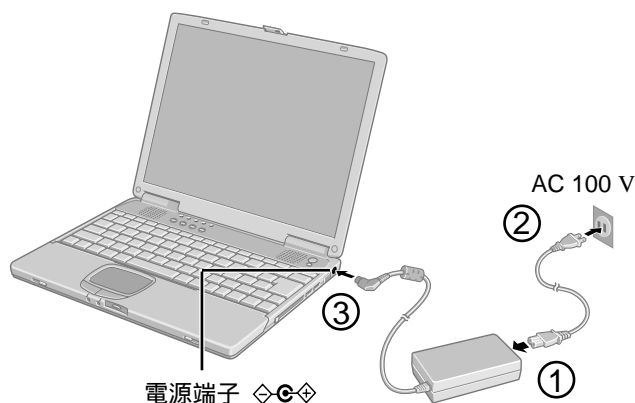
充電にかかる時間

電源オン時：約3.5時間
電源オフ時：約3時間

（コンピューターの動作状態により異なります。）

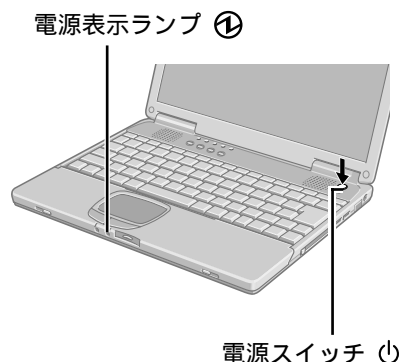
⚠注意

必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上押したままにしないでください。4秒以上押し続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続して押さないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、フラットパッドやキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であっても、ディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイまたは休止状態になります（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）。電源スイッチを押すと、スタンバイまたは休止状態になる前の状態に戻ります。

8 Windowsをセットアップする

カーソル( )の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 14ページ）

お願い

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

① 「Microsoft Windowsへようこそ」画面で[次へ]を選ぶ。
② 「タイムゾーンを選択してください」画面でタイムゾーンを設定して[次へ]を選ぶ。
③ 「使用許諾契約」画面で内容をよく読んで「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

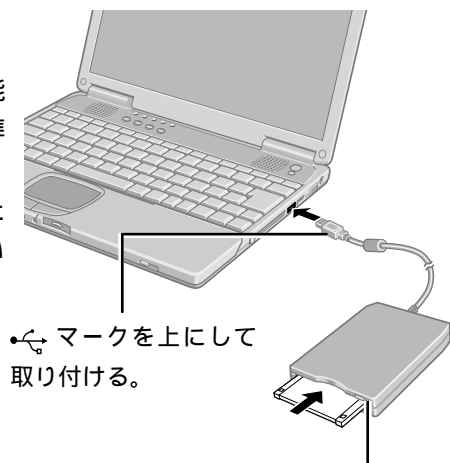
④ 「コンピュータに名前を付けてください」画面でコンピューターの名前と説明を入力して、[次へ]を選ぶ。（省略可能）
⑤ 「管理者パスワードを設定してください」 画面でパスワードを設定して[次へ]を選ぶ。（省略可能）
⑥ 「このコンピュータにドメインを参加させますか？」 画面で「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑦ 「インターネット接続を確認しています」 画面または「インターネットに接続する方法を指定してください」画面で[省略]を選ぶ。
⑧ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」 画面で「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑨ 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面で名前を1つ以上入力して[次へ]を選ぶ。
パスワードとユーザーの権限の設定変更は後で設定できます。
⑩ 「設定が完了しました」画面で[完了]を選ぶ。
⑪ 「ようこそ」画面でユーザーを選ぶ。（手順⑨で複数のユーザーを指定した場合のみ）

9 再インストール用のバックアップディスクを作成する

別売りのフロッピーディスクドライブを取り付けてください。書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備し、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選びます。以降、画面に従って操作してください。作成したディスクにはラベルを貼り、名称（「ファーストエイドFD」など）を書いてください。

作成したフロッピーディスク
ファーストエイド FD
アップデート FD

アップデートFD作成画面が表示されたら、画面に従ってディスクを作成してください。アップデート FD は、作成する必要がない場合もあります。

バックアップディスクは、作成する必要がない場合もあります。この場合、「“ バックアップディスク ”を作成する必要はありません」というメッセージが表示されます。

お願い

- 作成したバックアップディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、再インストールする（ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻す）ときに使います。大切に保管してください。
  ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。
- バックアップディスクは、再インストールが必要になってからでは作成できないことがあります。
- バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクドライブのランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったり、スタンバイ・休止状態機能を使って終了したりしないでください（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）。

お知らせ

- Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセット機能があります。この機能を使うには、パスワードリセットディスクを作成しておく必要があります。
  パスワードリセットディスクを作成していると、ログオン画面で間違ったパスワードを入力したとき、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定することができます。
  1. [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
  2. [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成してください。
  - 作成したディスクは大切に保管してください。
  - パスワードリセットディスクで解除できるのは、アカウントごとのログオンパスワードです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。
- コンピューターの設定を変更した場合は、再起動することをおすすめします。

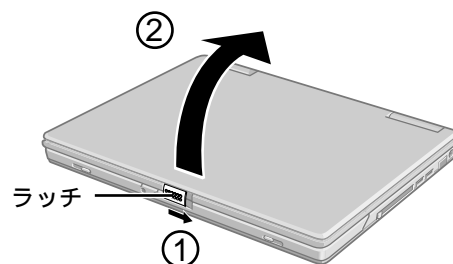
操作を始める／終わる

操作を始める

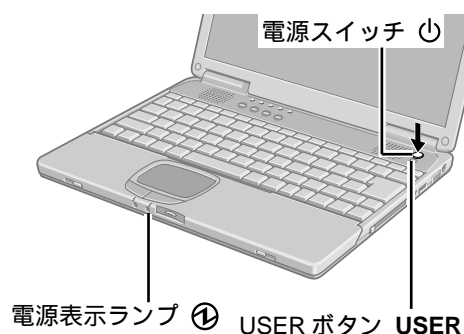
1 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

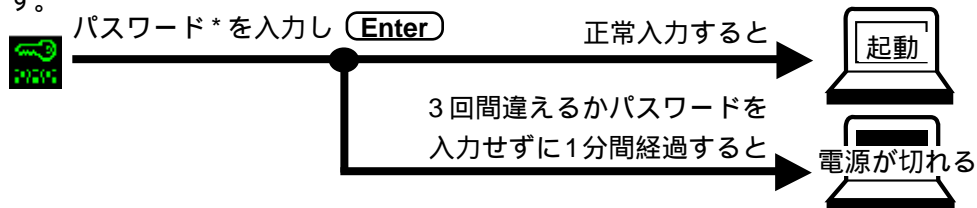
ディスプレイを180度開けた状態で上から押さえないでください。

2 電源を入れる

以下の2通りの方法があります。

・電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプ（）が点灯したことを確認してから手を離します。
・USERボタンを押します。
Windows起動後、USERボタンに登録されているアプリケーションソフトが起動します。（工場出荷時、アプリケーションソフトは登録されていません。）
（☞ 操作マニュアル『USERボタン』）

お願い

● 起動中は、ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
　・ACアダプターを抜き差しする。
　・電源スイッチ、USERボタンを操作する。
　・キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
　・ディスプレイを閉じる。
● 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
● 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 画面に が表示されたら ...

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。

＊セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

● 操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら ...

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）

3 **ユーザーを選ぶ**（複数のユーザーが設定されている場合のみ）**またはパスワードを入力して[OK]を選ぶ**

ハードディスク状態表示ランプ（ ）が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。

ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（☞下記「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

お知らせ

以下の場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
- ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
- Guest アカウントが無効。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

4 **操作をする**

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、フラットパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイまたは休止状態になります（☞ 操作マニュアル『スタンバイ・休止状態機能』）。電源スイッチを押すと、スタンバイまたは休止状態になる前の状態に戻ります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

- 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
  この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを所有している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り換えることができます。「ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。
  また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
  本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示について

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示を以前のバージョンのWindowsのスタイルに変更することができます。

● スタートメニュー

1 [スタート]を右クリックして[プロパティ]を選ぶ。
2 [[スタート]メニュー]を選んで「クラシック[スタート]メニュー」を選ぶ。

●コントロールパネル

[コントロールパネル]を表示し、[クラシック表示に切り替える]を選ぶ。

本書では、Windows XP のデフォルト設定の手順（クラシック表示を使用しない手順）で説明します。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞操作マニュアル『スタンバイ･休止状態機能』）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

[スタート]を選び、[終了オプション]または[シャットダウン]を選ぶ。

お願い

「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。Windowsをシャットダウンするとその人のデータが失われる可能性があります」というメッセージが表示された場合は、いったん[いいえ]を選び、すべてのユーザーのログオフを行ってから、終了操作をし直してください。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには
[⊞] を押し、[終了オプション]または[シャットダウン]を選びます。

3 終了を確認し、電源を切る

[電源を切る]または[シャットダウン]を選んで、[OK]を選ぶ。
自動的に電源が切れます。

● 電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

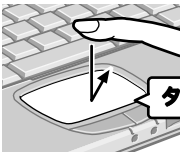
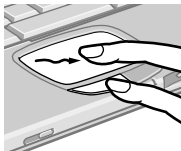
[再起動]を選ぶ。（必要に応じて、[OK]を選んでください。）

お願い

終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き差しする。
- 電源スイッチ、USERボタンを操作する。
- キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

お知らせ

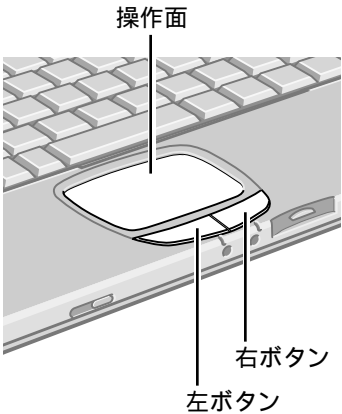
次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞ 操作マニュアル 『スタンバイ･休止状態機能』）

操作を始める／終わる

フラットパッドを使う（基本操作）

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
詳細については、操作マニュアル『フラットパッドの操作』を参照してください。

お願い

フラットパッドは、指で操作するように設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ／クリック	タップ　または　クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。　または　ボタンを押しながら、指を移動させる。

フラットパッドの取り扱い

- フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- **フラットパッドに汚れが付着した場合：**
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、ページ右上の 印刷 をクリックすると印刷設定画面が表示されますので、必要なページを指定して印刷することができます。ページは、画面左下の「ページの確認」部分で確認してください。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

- 適した場所
  - 平らで落下のおそれがない場所
    コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わります。
  - 使用時の温度：5 ℃ 〜 35 ℃
    湿度：30 %RH 〜 80 %RH
    （結露なきこと）
    保管時の温度：-20 ℃ 〜 60 ℃
    湿度：30 %RH 〜 90 %RH
    （結露なきこと）
- 磁気を発生するもの（磁石・ブレスレットなど）の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図）をすべて取り外してください。
- 予備のバッテリーパック(別売り)を用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。ディスプレイを閉じるときは、ラッチ部分（☞ 8ページ）がきちんとかみ合っていることを確認してください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。
- <H" INモジュール内蔵モデルのみ>
  H" INモジュールが本体から突き出ています（右図）。
  注意して持ち運んでください。「安全上のご注意」もあわせてお読みください。

お手入れ

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 **キーボードエラーです。**	**外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。**
0251 **システム**CMOS**のチェックサムが正しくありません。−デフォルト値が設定されました。**	CMOS**データがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。** ● **セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。** ● **それでもエラーになる場合は、**CMOS**バックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。**
0271 Check date and time settings	**システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。**
0280 **起動を**3**回失敗しました。−デフォルト値を使用して起動します。**	**電源を入れてから**ＯＳ**が起動するまでに、**3**回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しく**OS**を起動すれば表示されることはありません。**

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 **ハードディスクエラーです。**	**ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。**
0212 **キーボードコントローラエラーです。**	**システムボードの故障です。**
0230 **システム**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn 0231 **シャドウ**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn 0232 **拡張**RAM**エラー。オフセットアドレス：**nnnn	**メモリーの故障です。**
0250 **システムのバッテリがありません。−バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。**	CMOS**バックアップバッテリーが消耗しています。** **バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。**
0260 **システムタイマーエラーです。**	**システムボードの故障です。**
0270 **リアルタイムクロックエラーです。**	**システムボードの故障です。**
02D0 **システムキャッシュエラーです。−キャッシュは使用できません。**	CPU**の故障です。**
02F5 DMA**のテストが異常終了しました。**	**システムボードの故障です。**

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 17ページの「エラーコードが表示されたら」を参照してください。
Windows **の起動および動作が極端に遅い**	セットアップユーティリティを起動してください。 (☞操作マニュアル『セットアップユーティリティ』) (F9) を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● [コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻を変更する]を使って訂正してください。 ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合､日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき､が表示されない	スタンバイ・休止状態からリジュームしたときは、セットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]で「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
「Remove disks or other Press any key to restart」 **と表示される**	● システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされています。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合、ハードディスクをフォーマットしたか、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、(F9) を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してみてください。 ● [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選んで、[開始]を選んでください。 ● 起動時、(F8)を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

●終了時

Windows が終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞操作マニュアル『LAN 機能』）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

●バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。いったんACアダプターを外し、温度が充電可能な範囲内になるのを待ってから接続してください。

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar500jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

●アプリケーション

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Delete を押してタスクマネージャーを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ●電源スイッチを4秒間押して電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。

●ディスクの操作

CD-ROMドライブまたはDVD-ROM ドライブに交換すると、ディスク上のファイルが読み込めない	マルチメディアポケットにCD-R/RWドライブを取り付けた後、CD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブに交換すると、ディスク上のファイルが読み込めない場合があります。その場合は、以下の手順で「ハードウェア変更のスキャン」を実行してください。 *1* [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。 *2* [DVD-ROM/CD-ROMドライブ]の下に表示されているドライブ（例：TEACXXXXなど）を選び、メニューから[操作]-[削除]を選んで[OK]を選ぶ。 *3* メニューから[操作]-[ハードウェア変更のスキャン]を選ぶ。 （上記の問題が起こることが、マイクロソフト社より報告されています。）

困ったときのQ&A

● 画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[Lynx3DM+]で[CRT]を[オン]に設定していますか？ ● Fn ＋ F3で表示先を切り換えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、リジュームしたときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されません。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって､ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチを押すと元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn ＋ F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。 ● Fn ＋ F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り換わったことを確認してから押してください。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続しなおしてください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するには、[Windowsキー]を押し、[終了オプション]または[シャットダウン]を選びます。 ● キーボードで操作できない場合は、前ページの「ハングアップした」をご覧ください。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合､省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	Fn ＋ F3 で表示先を切り換えてみてください。
スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると、エラーが起こることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。
ウィンドウが消えた	起動したはずのウィンドウが見えなくなった場合､画面切換ユーティリティにより別の画面に切り換えられてしまったことも考えられます｡別の画面に切り換えて確認してください｡(☞ 操作マニュアル『画面切換ユーティリティ』)
タスクバーのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選んで、［タスクバー］の［アクティブでないインジケータを隠す］のチェックマークを外してください。

困った時は

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- [バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD*1（☞ 10ページ 手順9）

  *1 アップデートFDを作成した場合。
- 別売りのCDドライブ*2

  *2 CD-ROMドライブ（品番：CF-VCDL2JS）、CD-R/RWドライブ（品番：CF-VCWL2JS）、DVD-ROMドライブ（品番：CF-VDDL2JS）、USB接続のCDドライブ（パナソニック製 XL-840AN、KXL-RW20AN、KXL-RW21AN、KXL-RW31AN）
- 別売りのフロッピーディスクドライブ*3

  *3 10ページ 手順9でバックアップディスクを作成する必要があった場合は、フロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）が必要です。ドライブをUSBコネクターに接続してください。

●以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。
- 不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。

再インストールする

お願い

- 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。

1. CDドライブをマルチメディアポケットに接続する。
   USB接続のCDドライブを使う場合は、CDドライブをUSBコネクターに接続してください。
2. コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
3. セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、 F9 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
4. 「起動」メニューで「CDドライブ」が1番目になるように F5 、 F6 を押して、設定する。
5. 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。
6. F10 を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
7. 再インストールを実行するための条件が表示されますので、同意する場合は 1 を押し、同意しない場合は 2 を押す。
   1 を押すとメニューが表示されます。
   2 を押すと再インストールが中断されます。
8. メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
   - ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
     [1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
   - 最初のパーティション(通常はCドライブ)を工場出荷の状態にするには：
     [2.最初のパーティションにWindowsを再インストールする]を選ぶ。

     この場合、最初のパーティションのサイズは約4 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。
9. 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
   再インストールが始まります。
   - 途中で次のCDを挿入する指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリーCD-ROMを順にCDドライブにセットし、[OK]を選んでください。
10. コピーなどが終了して「Windowsの再インストールを完了しました。」と表示されたら、「プロダクトリカバリーCD-ROM3」を取り出し、電源スイッチを押してコンピューターの電源を切る。
11. CDドライブを取り外してコンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押してセットアップユーティリティを起動する。
12. F9 を押す。
    確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
    - セットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の設定に戻っています（パスワードを除く）。必要に応じて各種設定を変更してください。
13. F10 を押す。
    確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
14. Windowsのセットアップを行う。（☞ 9ページ）

ソフトウェア使用許諾書

第１条　　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属CD-ROMおよびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　　使用コンピューター

本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　　免責

本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

バッテリー状態表示ランプ

操作マニュアル『バッテリーパック』

電源表示ランプ

電源オン時　　　　　　：点灯
スタンバイ時　　　　　：点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯

- 音量は、[コントロールパネル]-[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]-[サウンドとオーディオデバイス]-[音量]を選んで調整してください。
  音量は、キーの組み合わせで調整することもできます。
  （Fn + F5 または F6）
- スピーカーのオン / オフ: Fn + F4

各部の名称と働き

⚠注意

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

LAN コネクター
☞ 操作マニュアル『LAN 機能』

通風孔

H" INモジュール
<H" INモジュール内蔵モデルの場合>
☞ 付属の「H" INモジュールの使いかた」

外部ディスプレイコネクター
☞ 操作マニュアル『外部ディスプレイ』

マルチメディアポケット
☞ 操作マニュアル『マルチメディアポケット』

盗難防止用ロック穴 LOCK

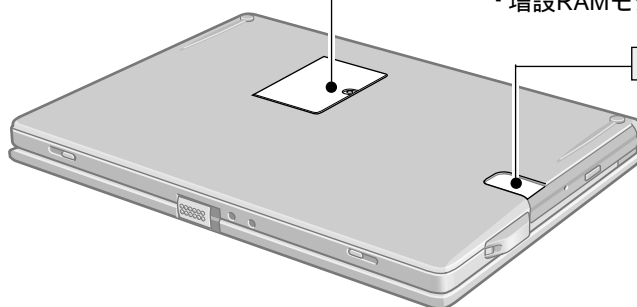
市販のセキュリティ用のケーブルを使用し、机などにつないで盗難を防止します。
接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスコムポート
☞ 操作マニュアル『携帯電話・PHS 電話』

シリアルコネクター
シリアルマウスやモデムなどの通信機器を接続します。

外部キーボード／マウスコネクター

IBM PS/2タイプの外部キーボードまたはマウスを接続します。

パラレルコネクター
☞ 操作マニュアル『プリンター』

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-L2P8CAXS	CF-L2U8CAXS
CPU			Intel® Speed Step™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 850 MHz	モバイル Intel® Celeron™ プロセッサ 750 MHz
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト	
		L2	256 Kバイト	128 Kバイト
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			128 Mバイト（最大256 Mバイト）	
ビデオメモリー			4 Mバイト	
LCD	タイプ		13.3型TFTカラー液晶	
	解像度 （表示色数）		1024 × 768ドット（256色/65536色/1600万色*1）	
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット （4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色）	
ハードディスクドライブ			約30 Gバイト*2	約20 Gバイト*2
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）	
スロット	PCカードスロット		Type I（Type II）×1スロット内蔵 許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA	
	増設RAMスロット		1スロット（144ピン、3.3 V対応、SDRAM）100 MHz*3	
インターフェース	パラレルコネクター		ECP対応Dsub 25ピン×1	
	シリアルコネクター		RS232C Dsub 9ピン×1	
	外部ディスプレイコネクター		アナログRGBミニDsub 15ピン	
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）	
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3	
	外部キーボード/マウスコネクター		PS/2 タイプ ミニDIN 6ピン×1	
	USBコネクター		Universal Serial Bus準拠4 ピン×2	
	モデムコネクター		本体内蔵（RJ-11） DATA：56 kbps（V.90 & K56flex）FAX：14.4 kbps	
	LANコネクター		本体内蔵（RJ-45） 100BASE-TX/10BASE-T	
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）	
ポインティングデバイス			フラットパッド	
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）、ステレオスピーカー搭載	
消費電力*4			最大 約60 W、（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W	
外形寸法（幅×高さ×奥行）			297 mm×25.6（前部）/29.7（後部）mm×238.5 mm （突起部を除く）	
質量			約1.7 kg	
使用環境条件			温度：5 °C〜35 °C 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）	

*1 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。
*2 1 Gバイト=10⁹ バイトで端数を省略しています。
*3 RAMモジュールを増設する際、100 MHz対応であることをご確認ください。
*4 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
「LAN Wake Up機能」が「有効」に設定されているときは約3.0 W。

● 付属品仕様

AC アダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*5、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.6 V、3.85 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V（Li-ion）、3.6 Ah
	駆動時間	約4 時間*6

*5 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（☞ 3ページ）
*6 LCDバックライト輝度最低時。また、使用条件により異なります。

仕様 日本国内専用

● **導入済みソフトウェア**

機種名	CF-L2P8CAXS/CF-L2U8CAXS
OS	Microsoft® Windows® XP Professional（NTFSファイルシステム）
ユーティリティプログラム	DMI ビューアー USERボタンモニター 画面切換ユーティリティ 電波状況モニター II Adobe® Acrobat® Reader 5.0J

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
[消耗品（バッテリーパック）を除く]

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-008756（パナコム）

呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
受付時間 月～金（祝祭日を除く）
9時～17時30分

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）
ＦＡＸ (0726)24-7717

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2002年3月1日現在

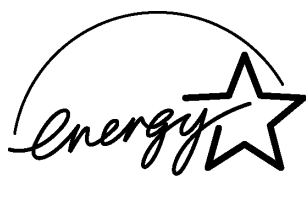
・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic

パーソナルコンピューター CF-L2シリーズ 取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

<table>
<tr><td rowspan="3">便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。</td><td>お買い上げ日</td><td>年　月　日</td><td>品 番 *1</td><td></td></tr>
<tr><td>販売店名</td><td>☎(　　)　－</td><td colspan="2">お近くの当社 ご相談センター
☎(　　)　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">Windows システムのプロダクトキー *2</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

*1 保証書に記載されている品番(例:CF-L2P8CAXS)を記入してください。

*2 本体底面のラベルに記載されている Product Key を記入してください。

松下電器産業株式会社 IT プロダクツ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0302-0
DFQM5487ZA